



令和 9 年度予算の編成方針について

「2027 年度市政運営の基本方針」の策定・公表に伴い、これを踏まえた「令和 9 年度予算の編成方針」を公表します。

○編成方針・要旨

1 全文 基礎的認識

各政策・事業の効果検証と再構築を徹底し、限られた財源を最大限有効に活用することで、適正な債務管理と必要な投資を両立したしなやかな財政運営を行い、中長期的な展望に立って、様々な政策を総合的に進めていく。

ただし、政策判断を伴う経費は、来年 4 月に市長及び市議会議員の任期が満了することを踏まえ、新たな市民の負託のもとに予算案として編成することから、令和 9 年度当初予算案はいわゆる骨格予算とする。

2 財政見通し

少子高齢化や保育・子育て環境の向上などに伴う社会保障施策関係経費の増大、物価高を踏まえた適正な労務単価や資材価格に対応する必要がある。

また、小・中学校等の教育施設やアクトシティ浜松、西部清掃工場等の大規模な公共建築物の整備更新、道路・橋りょう等の既存の社会資本の適正な維持管理に要する経費の増加があり、非常に厳しい財政運営となることが予想される。

3 予算編成の考え方

令和 9 年度は、基本計画に定めた政策については引き続き総合的に進めることとし、こども・若者・子育て支援や教育、環境、道路・河川の維持整備、公共施設等の総合管理など、各個別計画に基づく継続的な取組を着実に推進するものとする。

あわせて、将来に向けた規律ある財政を堅持していくため、一層の歳入確保を徹底し、最少の経費で最大の効果を挙げるため、歳出の重点化やより効果の高い事業への再構築によりメリハリの効いた予算案を作成する。

4 予算編成方法

政策自由度の向上と財源確保の両立及び事業の検証・選択・重点化・再構築等による収支不足の解消を目的として、令和 8 年度に引き続き「財源配分方式」を採用する。

